

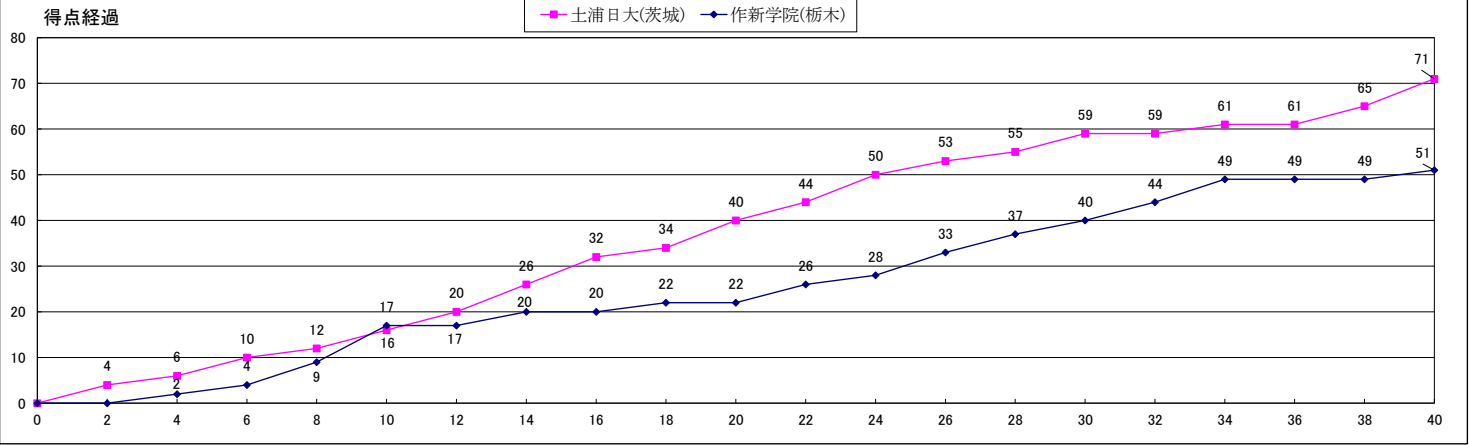
試合No.	C1	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会										
		期 日	令和5年2月12日(日)				会 場		小田原アリーナ				
女子2回戦		CC	石鍋 光智代			U1		中澤 美保子		U2		佐々木 寛子	
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score
		作新学院(栃木)					17	5	18	11			51
		土浦日大(茨城)					16	24	19	12			71

作新学院(栃木)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
平山 舞華	3	2	0	0		1	3	33%	0	0		0	0	0	0	1	1	0
篠崎 真緒(CAP)*	8	4	0	1	0%	2	10	20%	0	0		2	7	6	1	0	3	1
和田部 花歩	9																	
岩下 紫南	10	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
森山 叶稀	12	5	1	2	50%	1	1	100%	0	0		0	0	0	1	0	1	1
渡邊 悠花*	15	15	2	6	33%	4	7	57%	1	1	100%	0	1	0	0	0	1	2
安藤 愛菜	19																	
中嶋 彩愛	23	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
塩谷 琉生	26																	
石川 実来	34																	
大平 心音	54	0	0	0		0	0		0	0		0	0	1	0	0	0	1
松本 結愛*	55	3	1	1	100%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
大場 つぐみ*	67	19	1	1	100%	7	12	58%	2	4	50%	3	3	2	0	1	3	3
内山 瑚々	74	3	1	1	100%	0	0		0	0		0	1	0	0	1	0	2
阿久津 灯音*	83	0	0	5	0%	0	2	0%	0	0		1	2	1	0	1	1	3
コーチ 渡邊 明美																		
合計		51	6	17	35%	15	35	43%	3	5	60%	6	15	10	2	4	10	13

土浦日大(茨城)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
岡崎 真依(CAP)*	4	21	3	9	33%	5	14	36%	2	2	100%	0	7	2	0	0	3	2
久野 心鈴	5	0	0	0		0	0		0	0		1	0	0	0	0	0	0
川崎 明	6	2	0	3	0%	1	3	33%	0	2	0%	0	0	0	1	0	0	3
飯田 苺	7	11	1	4	25%	4	6	67%	0	0		0	1	1	2	2	1	2
檜山 凜々華*	8	29	0	0		10	19	53%	9	9	100%	4	6	1	0	2	0	0
永積 響香	9	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
高柳 胡桃	10	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
眞田 柚姫	11																	
神田 結衣	12																	
石塚 ありさ	13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
小川 にこ	14	0	0	1	0%	0	2	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
西山 陽南夏*	15	8	0	0		4	12	33%	0	0		4	3	0	1	0	0	2
コーチ 川満 有紀																		
合 計		71	4	17	24%	24	58	41%	11	13	85%	9	17	4	4	4	4	9



戦評

1Q
両者マンツーマンディフェンスでスタート。平均身長で優る土浦日大は#15を中心に、インサイドを起点としたオフェンスで得点を重ねる。対する作新学院はドライブでチャンスを狙うが、土浦日大の固いディフェンスを前になかなか得点を取ることができない時間が続く。残り2分を切ったところで作新学院は#15、#12の連続3ptsで一気に得点を重ねた。1Qは作新学院17-16土浦日大で終了。

2Q
開始直後に土浦日大の連続得点が決まり、一気に逆転に成功する。流れを変えたい作新学院は残り6分でタイムアウトを請求し、ディフェンスの強度を上げていく。土浦日大は落ち着いてパスをさばき、#7と#4の連続3ptsや#8のポストプレーで得点を重ねる。オフェンスリバウンドで圧倒し、セカンドチャンスをものにしていく。2Qは作新学院22-40土浦日大で終了。

3Q
後半開始、土浦日大は高い位置でのピック&ロールやフラッシュポストを中心にオフェンスを展開する。対する作新学院はディフェンスで流れを変えようとトラップディフェンスを仕掛け、#8のドライブや#67のオフェンスリバウンドやポストプレー、#15の3ptsで得点を重ねていく。#74のブザービーター3ptsが決まり、作新学院40-59土浦日大で3Q終了。

4Q
作新学院は開始1-2-2のオールコートプレスを仕掛ける。#67の連続得点で7得点をあげると、土浦日大のタイムアウト。落ち着きを取り戻した土浦日大は#7のドライブや#8のリバウンドシュートで得点し、リードを広げていく。ブロックショットやリバウンドで圧倒した土浦日大が準決勝に進んだ。最終スコアは作新学院51-71土浦日大となった。